

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●キャビネットが落下してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- ・棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
- ・棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)
- ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
- ・必ず棧木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
- ・石こうボードなどで補強材(躯体)が見えない場合は、工務店さまに補強材位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどでねじ止め位置に補強材の中心があることを確認してください。
- ・リフォームなどの場合、補強材(躯体)位置が石こうボードで確認できない場合は、石こうボードなどをはがして補強材位置を確認してください。
- ・石こうボードの表側には、補強材(躯体)は取付けないでください。





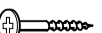

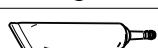
▲注意

- 組立ての際は、接合部に付属の接着剤を充てんしてください。充てんされていないと接合部が外れて、キャビネットの落下の原因となります。
- 扉の吊込みの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

■取付け上へのお願い

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 接着剤は、同梱のものをお使いください。

■部材一覧表

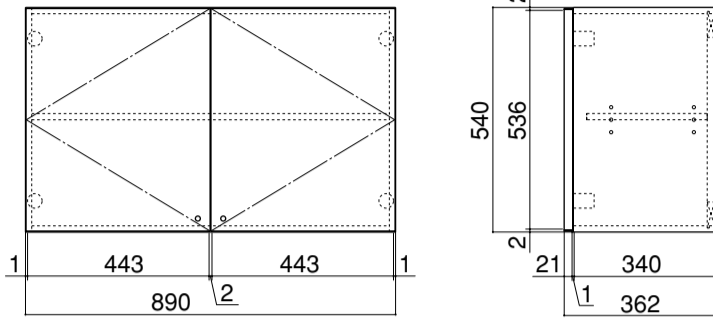
	部材名	数量	
		0905	0908
部材	①側板	2	2
	②天板・地板	2	2
	③背板	1	1
	④棚板	1	2
キャビネット 梱包品	棚ダボ 	8	8
	躯体固定ねじφ3.8×60 	6	6
	躯体固定ねじ用ワッシャー 	6	6
	躯体固定ねじ用キャップ 	6	6
	キャビネット連結、サイドパネル、カウンター、敷板固定ねじφ4×28 	28	28
	連結ねじ用キャップ 	28	28
	接着剤 	1	1

	部材名	数量	
		0905	0908
キャビネット 梱包品	把手セット (把手/小ねじM4×25) 	2	
	丁番座 	4	
	丁番カップ 	4	
	丁番カップ固定ねじφ4×16 	8	
	ショックアブソーバー セット(アダプター 取付けねじ) 	2	
	扉部材	扉/左吊元 扉/右吊元	2枚入り/1梱包

■寸法図

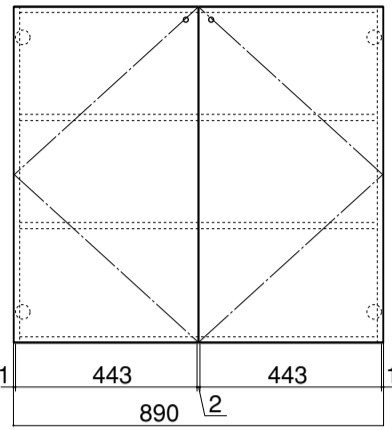
※扉の天地を逆にすることにより、把手を上部(下部)にすることができます。
 ※詳細は、「■取付け順序/5扉の取付け」をご覧ください。

●0905

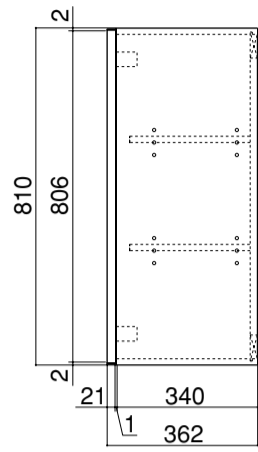


(側面図)

●0908



(側面図)



■据付け前の準備

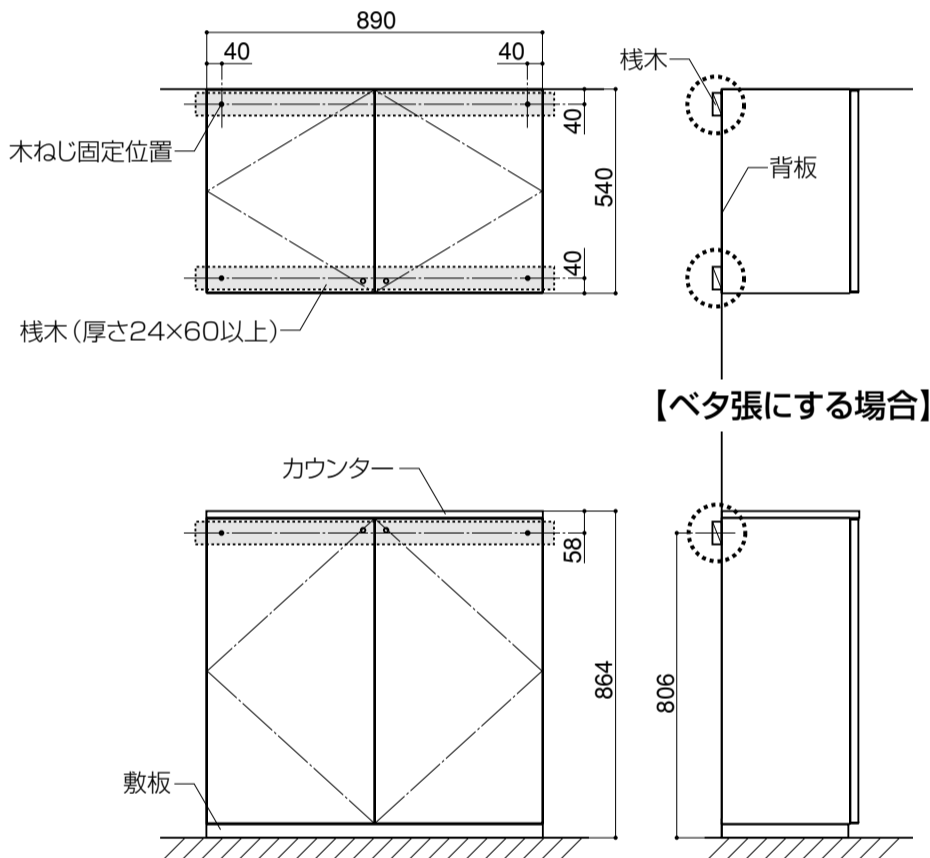
1 1 棧木の設置位置確認

●据付け場所と上がり枠の位置およびキャビネットの据付け高さを確認し、棧木を設置します。

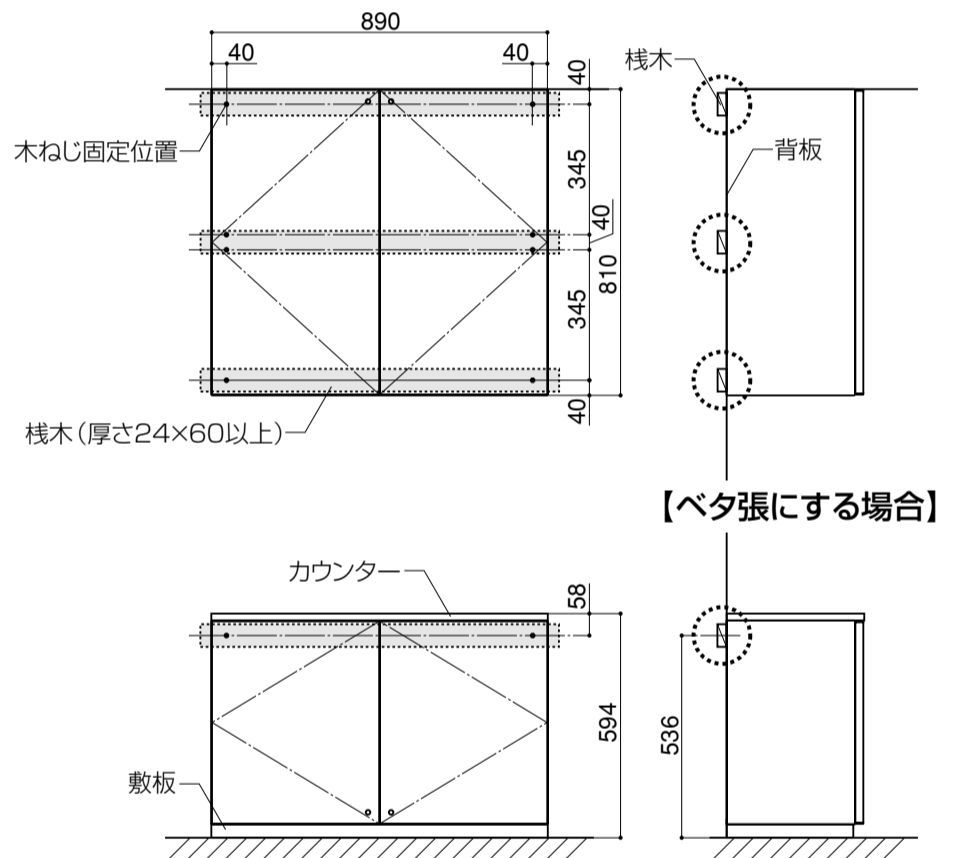
▲警告

- 指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。

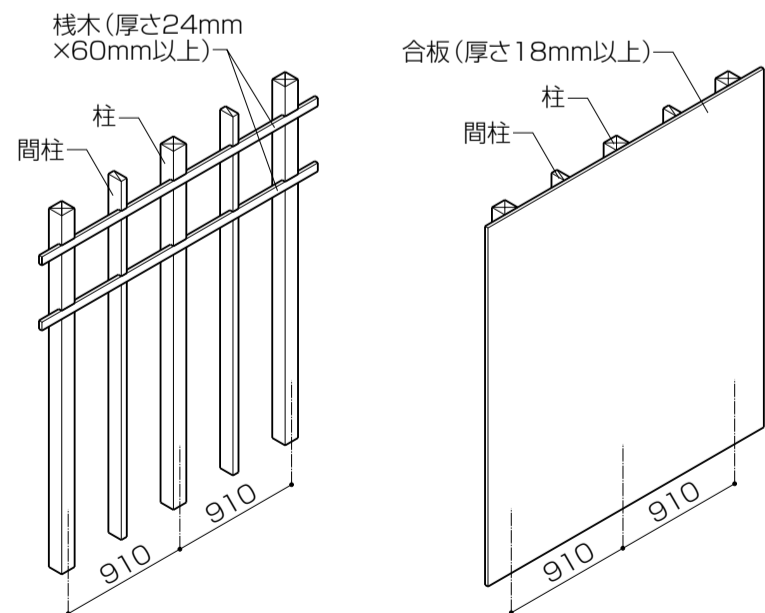
●0905が上の場合



●0908が上の場合



2 2 棧木の固定



▲警告

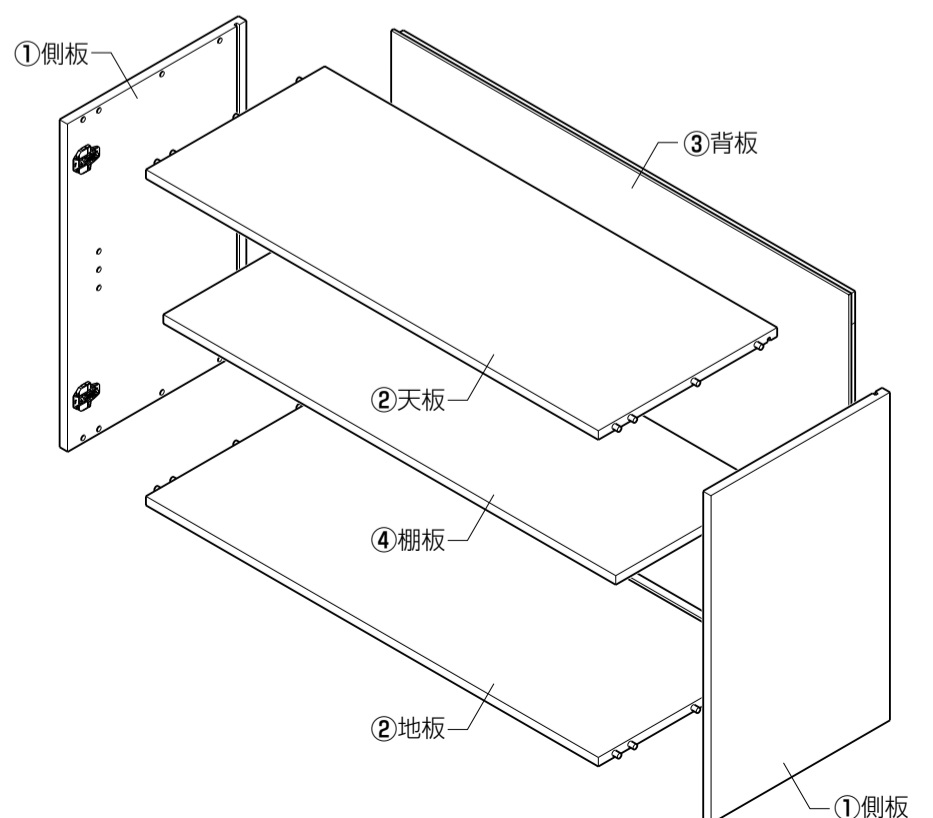
- 棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。

▲警告

- ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度が足りません。)

■各部名称図

※0908の棚板は2枚になります。

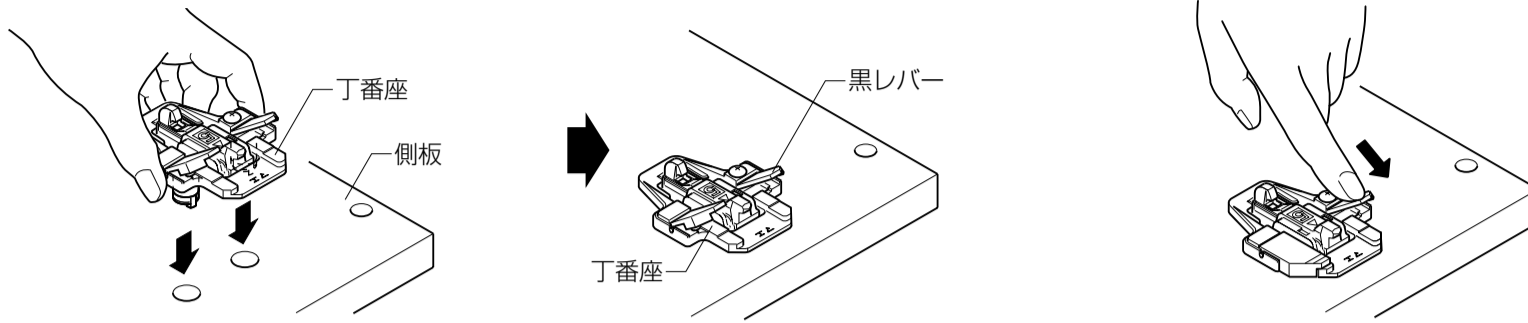


■組立て順序

■1 丁番の取付け

① 丁番座を側板の加工穴に差込みます。

② 黒レバーをおろして丁番座を固定します。



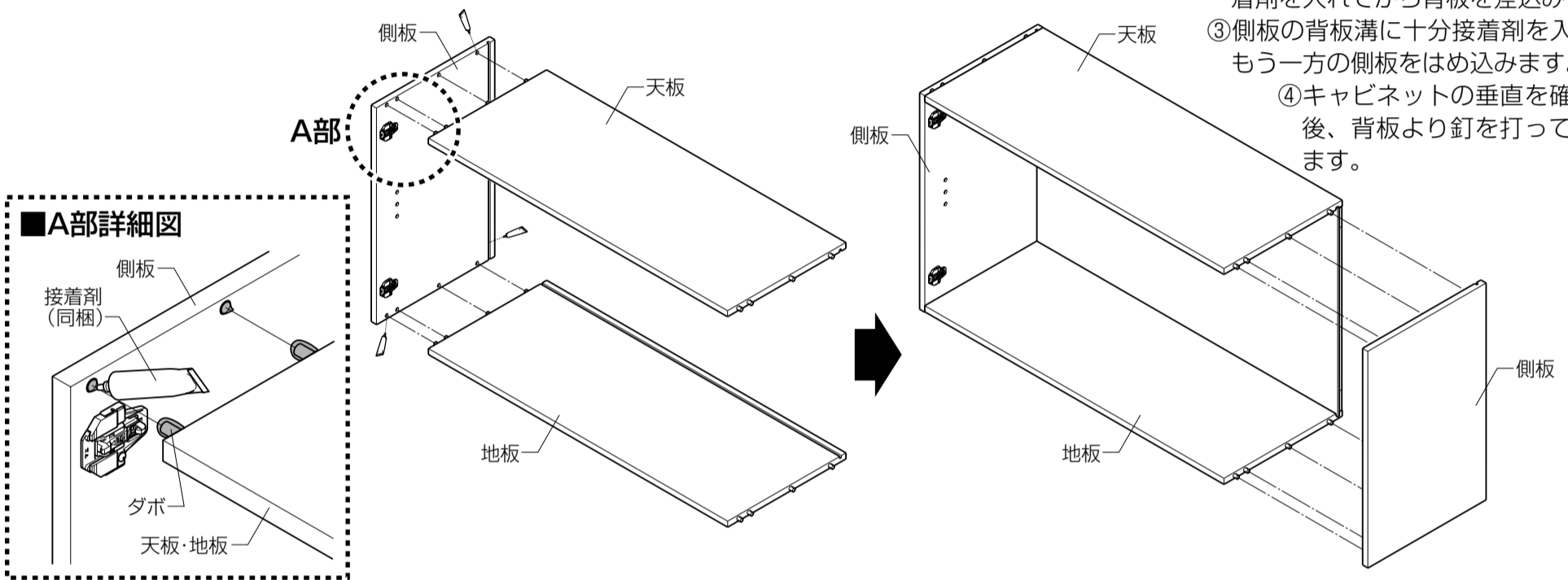
■2 キャビネットの組立て

① 片側の側板に天板・地板をはめ込みます。

② 側板、天板、地板の背板溝に、十分接着剤を入れてから背板を差込みます。

③ 側板の背板溝に十分接着剤を入れて、もう一方の側板をはめ込みます。

④ キャビネットの垂直を確認した後、背板より釘を打って固定します。

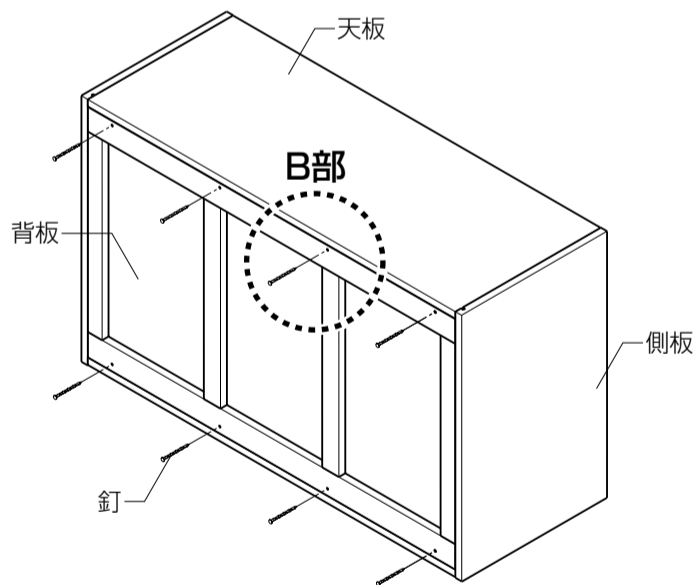
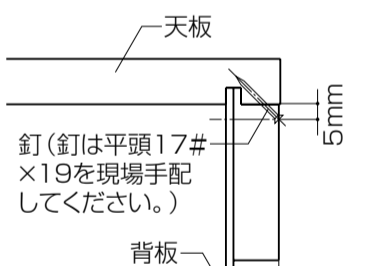


▲ 注意

● 接合部には必ず接着剤を充てんしてください。キャビネットの強度が出ず、キャビネット部材の落下および、中に入れている物の落下の原因となります。

⑤ 背板側から釘を打って固定します。

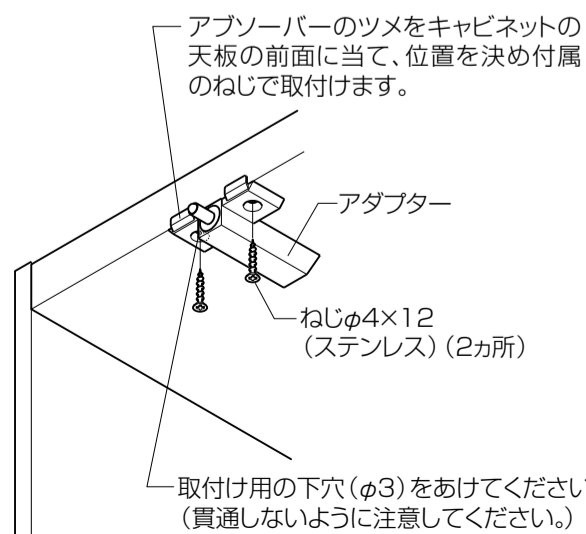
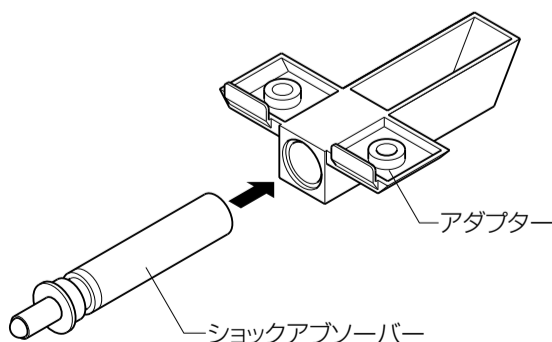
■背板への釘の打ち方 (B部詳細図)



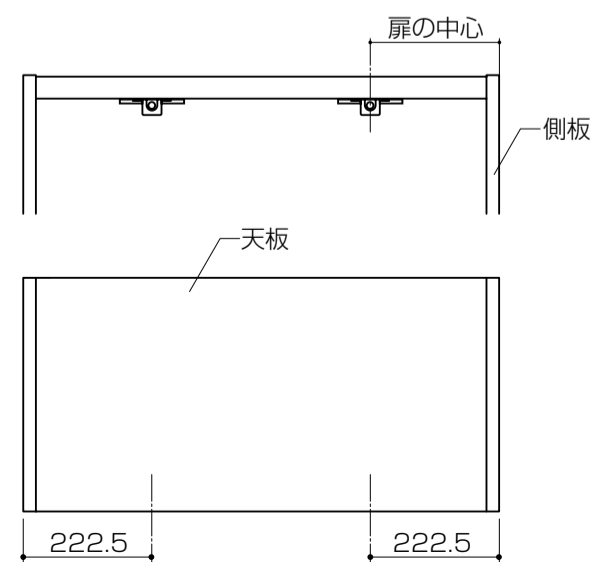
■3 ショックアブソーバーの取付け

① アダプターにショックアブソーバーを差込みます。

② ショックアブソーバーが扉の中心になるようにします。



■ショックアブソーバー取付け用下穴位置



■取付け順序

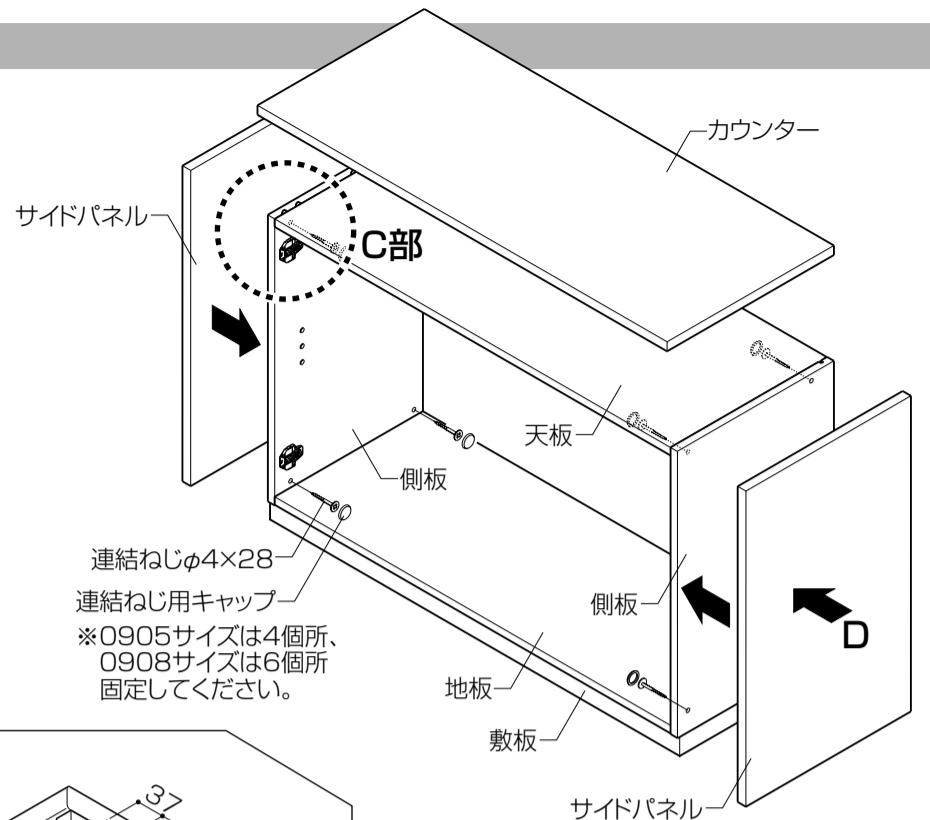
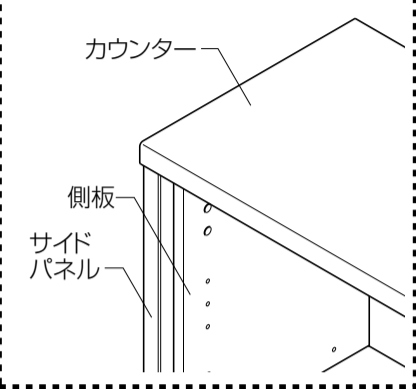
1 敷板の設置

※据付けの場所に、敷板を置きます。

2 カウンター・サイドパネルの取付け

- ①サイドパネルをキャビネット本体の側板面に、連結ねじφ4×28 (0905サイズは4箇所、0908サイズは6カ所) で内側から固定します。(カウンター横通しに納めてください。)
- ②カウンターを天板裏面より連結ねじで固定してください。(各キャビネットを連結ねじφ4×28 (6カ所) で固定します。)

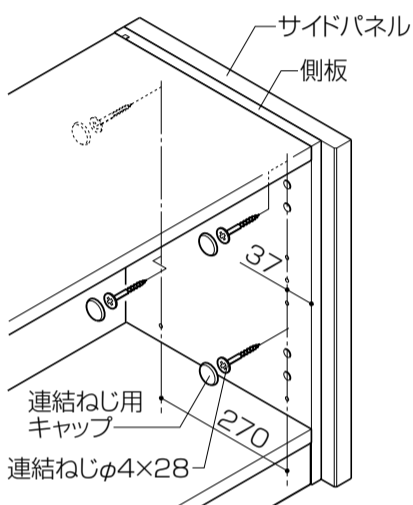
■C部詳細図 (取付け後)



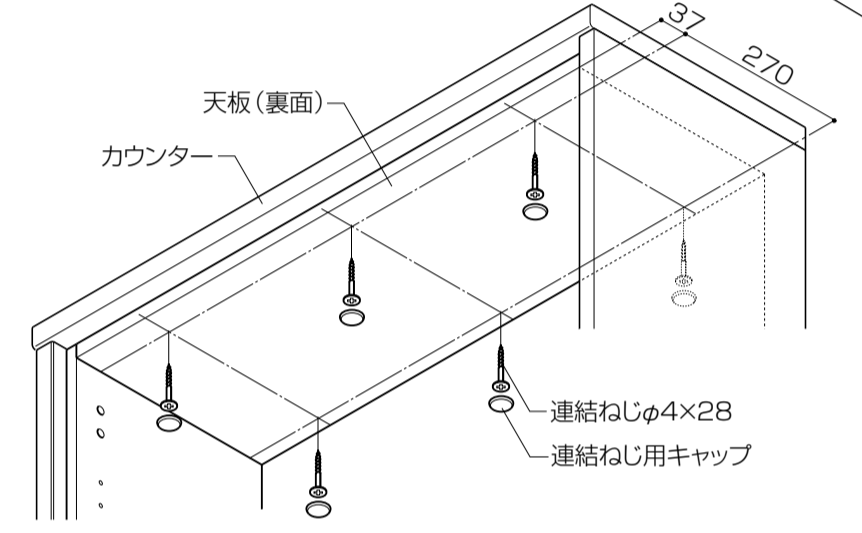
連結ねじφ4×28
連結ねじ用キャップ
※0905サイズは4箇所、0908サイズは6箇所固定してください。

■サイドパネル取付けねじ位置

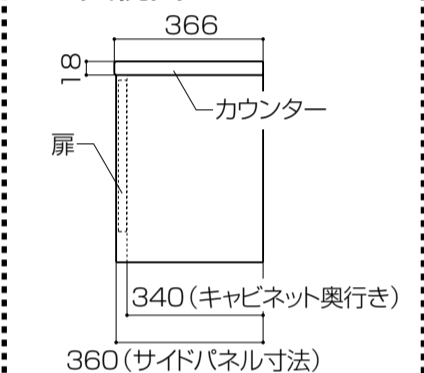
※部品の干渉に注意してねじ固定してください。



■カウンター連結ねじ位置



■D矢視図

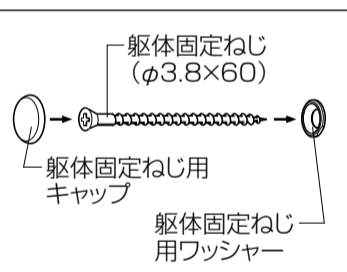


3 壁面への固定

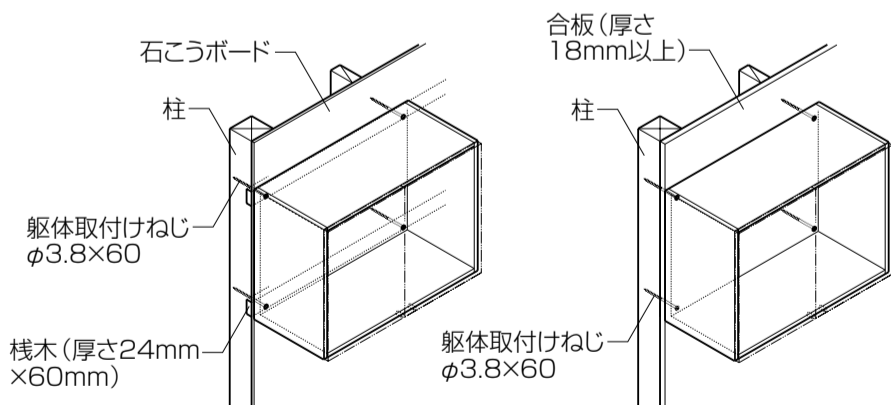
- ①水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定します。
 - ②躯体固定ねじφ3.8×60 (ワッシャー、キャップ同梱) で壁面に固定してください。
- ※固定後、キャビネットをゆすってガタツキのないことを確認してください。

▲警告

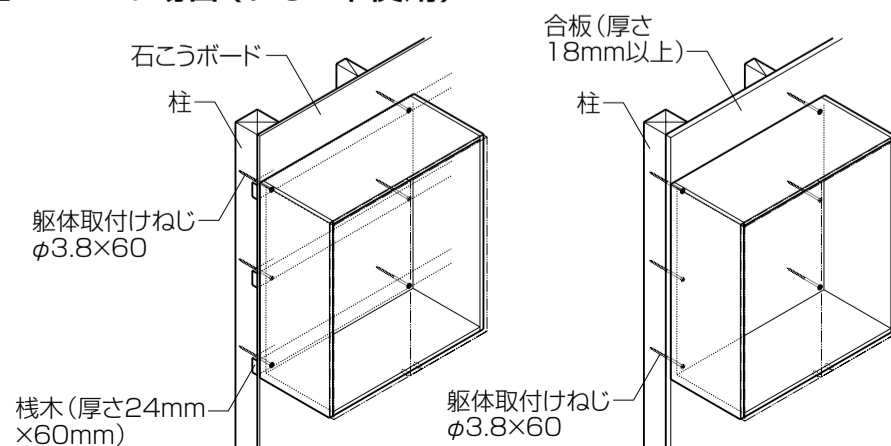
- 必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
- 必ず栈木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。



■0905の場合 (ねじ4本使用)



■0908の場合 (ねじ6本使用)



4 キャビネット・敷板の連結

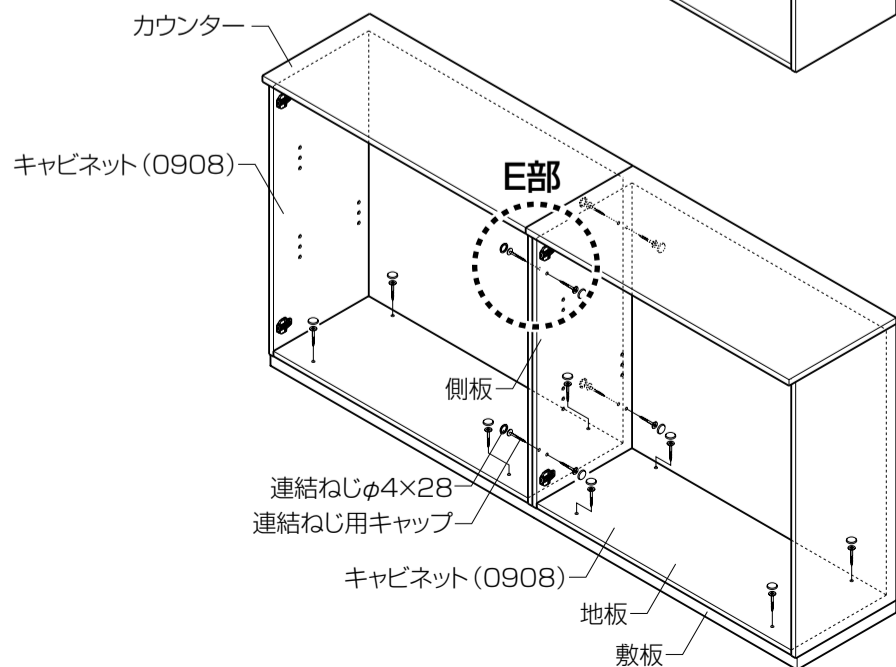
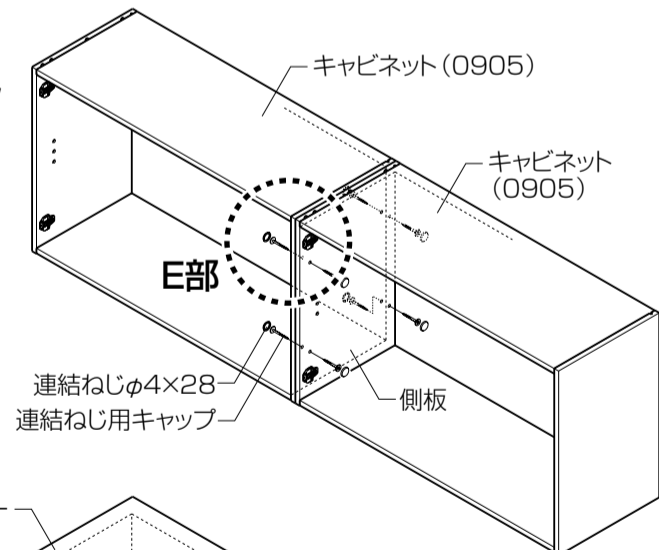
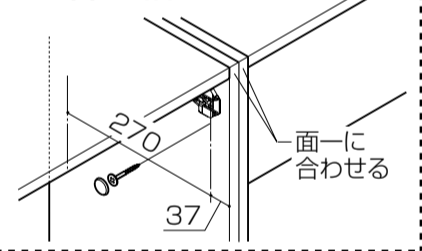
【キャビネット+キャビネット左右連結】

- キャビネットの側板全面を面一に合わせ、付属の連結ねじφ4×28で連結します。

【敷板+各キャビネット連結】

- キャビネットの内側から敷板に連結ねじφ4×28で連結します。
- ※この時、背面を合わせ、左右のチリを均等にしてください。

■E部詳細図



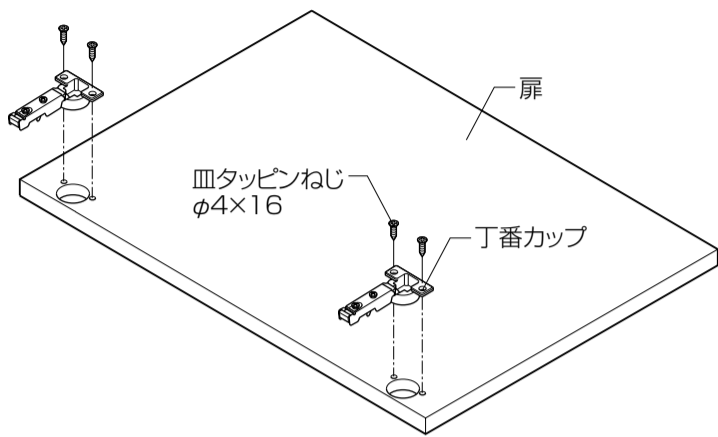
5 扉の取付け

① 丁番カップの取付け

● 扉に丁番カップを同梱のねじで取付けます。

お願い

● 丁番カップを取付ける際は、ねじを空転させないようにクラッチ付ドライバーの弱で締めてください。



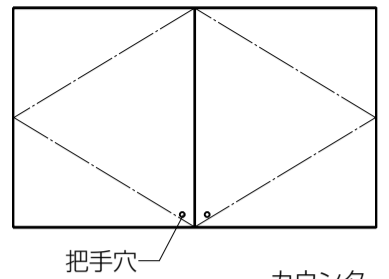
② 扉の左右勝手の確認

● 壁面へ設置する場合は把手穴が下、床面へ設置する場合は把手が上になります。

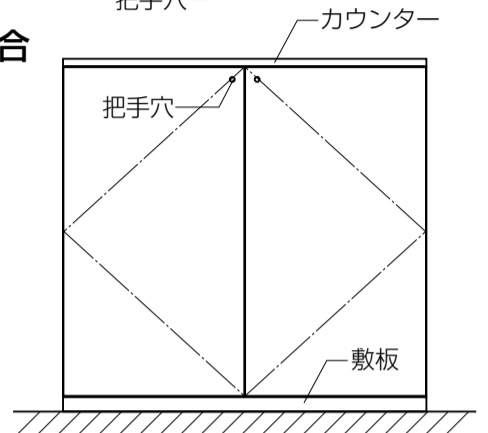
③ 把手の取付け

※ 把手セットは、キャビネットに同梱されています。

■ 0905の場合



■ 0908の場合

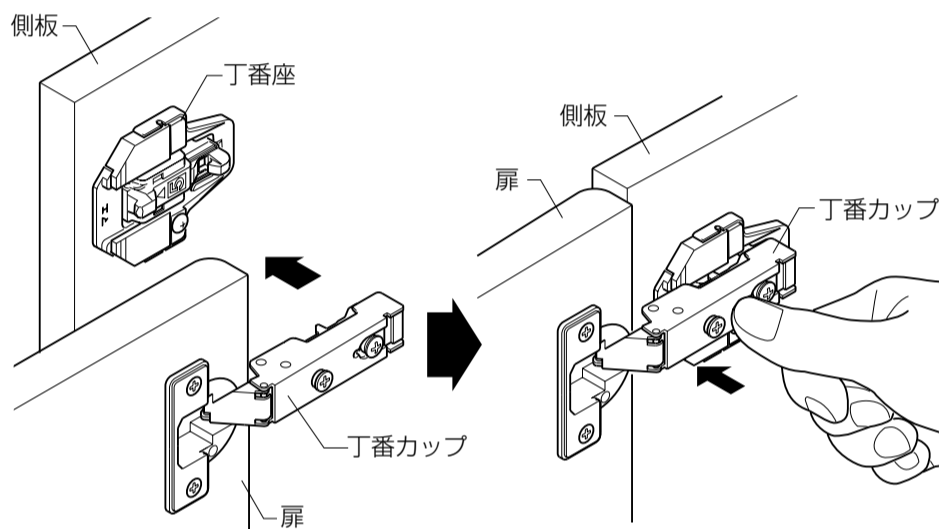


④ 扉の取付け方

※ 扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番がきちっと取付けられているか、必ず確認してください。

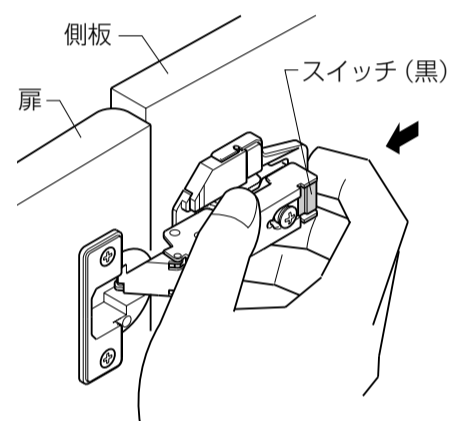
▲ 注意

● 扉を本体に取付ける際は、丁番本体が「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。



⑤ 扉の取外し方

● 扉を取外す際は、丁番本体の黒いスイッチを押してください。

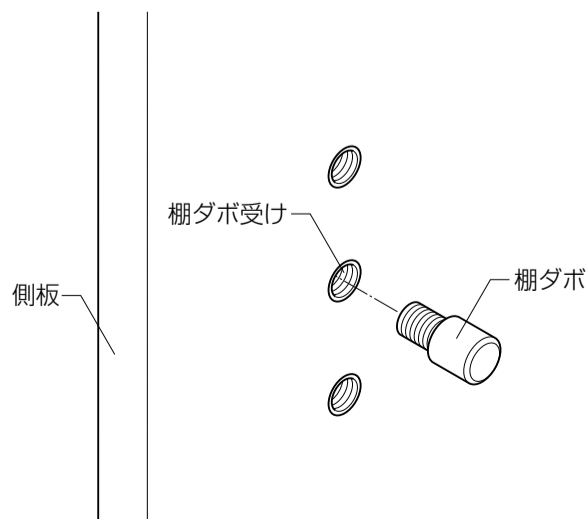


■ 扉の調整

前後調整	左右調整	上下調整
調整範囲(3mm:前方2mm・後方1mm)	調整範囲(±2mm)	調整範囲(±1.5mm)

6 棚ダボの取付け

● 棚ダボはねじ込み式になっていますので、取付ける時は、棚ダボ受けにねじ込んでください。



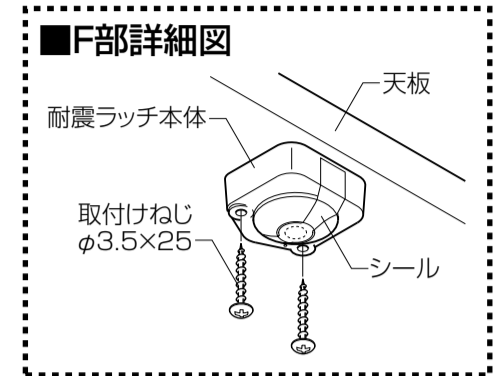
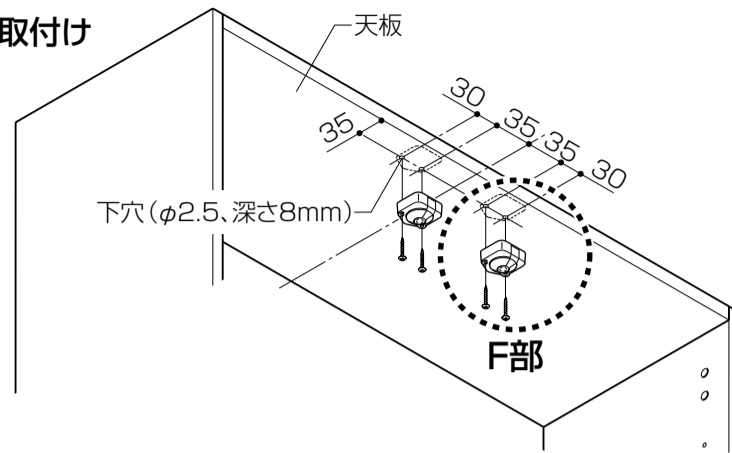
■オプション部品の取付け

■耐震ラッチの取付け

①天板への耐震ラッチ本体の取付け穴加工および取付け

- 右図の位置に下穴(φ2.5、深さ8mm)をあけます。付属のねじ(φ3.5×25)で、耐震ラッチ本体を取付けます。

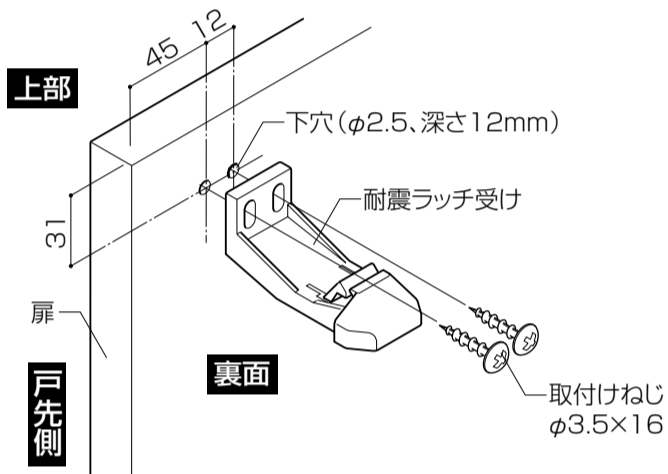
※取付け後、本体についているシールをはがしてください。



②扉への耐震ラッチ受けの取付け穴加工および取付け

※本図は、左吊扉裏面を示します。右吊扉は、対称となります。

- 扉の裏面戸先側上部の下図の位置に、下穴(φ2.5、深さ12mm)をあけます。付属のねじ(φ3.5×16)で耐震ラッチ受けを取付けます。



- Fのねじをゆるめ、耐震ラッチ受けをA寸法の範囲内で上下の調整をしてください。調整後、Fのねじを必ず締め直してください。

●耐震ラッチ受けがA範囲内に調整されないと正常に作動しません。

